

『春はあけぼの』

準備するもの 教科書 22ページ～24ページ

◎ に入る言葉を教科書から探しましょう。(アには同じ言葉が入ります。)

〈作品名〉「春はあけぼの」が書かれているのは という作品である。

〈作者〉 の作者は である。

〈時期〉 は から に書かれた。

〈内容〉 は について自分の見たり聞いたり、

感じたりして思ったことを文章にまとめた。

◎ まずは『春』を読んでみよう。()があるところは、()のところを読もう！

音読のポイント！

- ①昔の言葉で書かれているので、慣れるまで何度も読んでみよう！
- ②「マス開いているところ」区切って読むと読みやすくなります！
- ③慣れてきたら、リズムをつけて読んでみよう！

春はあけぼの。

(ヨウヨウ) (フ) ()

ちやちや 白くなりゆく 山ぎは、 すしあかりて

紫だちたる 雲の 細くたなびきたる。

(1) 音読して気づいたところを書いてみよう。

考えるときのポイント！

- ①この作品はずっとずっと昔に書かれたものです。
- ②23ページの今の言葉で書かれたところを読んで考えてみよう。

Large empty box for student responses.

(2) 筆者は『春』のどんな様子がよいと感じていますか。情景を想像しながら音読し、書きましよう。

◎ 『夏』を読んでみよう。()があるところは、()のところを読もう！

夏は夜。

(オ)

(イ)

月のころは さらなり。 やみもなほ、 螢の 多く 飛びちがひたる。

(オ)

また、ただ二つ二つなど、 ほのかに うち光りて 行くもをかし。

(オ)

雨など降るも をかし。

(1) 筆者は『夏』のどんな様子がよいと感じていますか。情景を想像しながら音読し、書きましよう。

◎ 今日の学習をふりかえってみよう。()考えたこと、わかったこと、ぎもんに思ったことなど()